



のぞみ 希望

学校
ホームページは
こちら



学校ホームページアドレス <https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/sugita/>

自然の中で

校長 藤崎 健児

5月15日(日)から16日(月)まで4年生の上郷宿泊体験学習、そして24日(火)から25日(水)まで5年生の三浦宿泊体験学習を実施しました。

私は4年生の体験学習の引率をしました。1日目は上郷森の家がある横浜自然観察の森でじっくりと自然とかかわるプログラムでした。

私は以前、ここでカワセミを見たことがあります。その羽の色の鮮やかさはまさに「飛ぶ宝石」で感動しました。ホタルを見たこともあります。暗闇の中、頭上を飛ぶホタルの「光」に子どもたちが大興奮したことを覚えています。自然観察の森は、横浜とは思えないほど自然豊かです。出発する前、この自然を子どもたちに十分に味わってほしいと思っていました。子どもたちが決めた体験学習のスローガンは「自分で考え みんなで協力 自然を味わい たくさん楽しみ Kami go! Let's go!」でした。自然を味わうことも目標になっていました。

午前中の自然観察プログラムはグループでの活動です。私も1グループの担当となりました。プログラムは4つ。1つめは「ウグイスの草地」で提示した写真と同じ3種類の葉の植物を探すこと。「先生、これかなあ。」「ううん、似ているけどちがうなあ。」と探す子どもたち。これまで何気なくひとくりに「草」と思っていたものも、よく見ると葉の形やつき方、すじ(葉脈)がちがうことに気付いていました。2つめは「ウグイスの道」でクスノキの落ち葉を探し、それをもんだりねじったりしてその香りをかぎます。「ミントみたいなにおいがする。」と驚いていました。3つめは「アキアカネの丘」で鳥の鳴き声を聞き、その鳥について観察の森のレンジャーさんから説明を聞きました。子どもたちはしっかりと鳥の声を聞き分けていました。4つめは「モンキチョウの丘」でミズキの花や葉、そこに集まってくる生き物を観察すること。レンジャーさんが説明とともに枝についている大きな毛虫を見せると、子どもたちは歓声(悲鳴かもしれません)をあげていました。

ゲームやYouTubeなどの小さい画面から離れ、本物の自然をたっぷり味わった1日。子どもたちは何を感じたのでしょうか。興味を持続させ、継続して行いたくなるよう計算されたゲームや、自分の興味のある内容を自由に選ぶことができる動画配信に、子どもたちが惹きつけられることはよく分かります。しかし、実際に自然と触れ合う体験はとても貴重で、得られるものはとても多いです。だからこそ、自然の楽しさや大切さが実感できるように、宿泊体験学習に自然とふれあうプログラムを設定しています。先日、校医の先生に日光を浴びることで近視の発症が抑えられるという研究結果があることも教えていただきました。自然とかかわることは健康の保持にもつながります。

屋外で1日活動した子どもたちはとても満足そうでした。「自分で考え みんなで協力」する姿も多く見られ、子どもたちの成長を感じた2日間となりました。

